

**令和2年度における
読書活動推進施策について
(報告)**

令和3年6月

秋田県読書活動推進本部

目 次

I	はじめに	1
II	第2次基本計画の概要と施策推進状況	2
III	読書活動推進施策	6
1	家庭における読書活動の推進	
◆	あなたの「読みたい！」をサポートします	
(1)	「家族で読書」運動の提唱と普及	6
(2)	子どもの読書推進	6
(3)	中・高校生の読書推進	7
(4)	高齢者の読書推進	7
(5)	図書館の利便性向上と利用促進	8
◆	「読書は楽しい！」の気持ちを広げます	
(1)	読み聞かせお薦めの絵本の紹介	9
(2)	ホームページやブログ等を活用した情報発信	10
2	学校・職場における読書活動の推進	
◆	あなたの「読みたい！」をサポートします	
(1)	就学前施設における読み聞かせの推奨	11
(2)	子どもの発達の段階に応じた読書活動支援	11
(3)	学校図書館の活性化支援と地域開放	12
(4)	大学図書館と県立図書館との連携強化	13
(5)	職場における読書環境の整備	14
(6)	仕事や就労に関連する読書支援	14
◆	「読書は楽しい！」の気持ちを広げます	
○	児童・生徒・学生の読書への興味・関心を高める取組	15
3	地域における読書活動の推進	
◆	あなたの「読みたい！」をサポートします	
(1)	様々なシーンで読書に親しむ活動の推進	17
(2)	市町村立図書館等の利用促進	19
◆	「読書は楽しい！」の気持ちを広げます	
(1)	読書ボランティア等への支援	20
(2)	「秋田県読書フェスタ」の開催	22
(3)	デジタルアーカイブの活用促進	22

4 県民協働による読書活動の推進

- ◆あなたの「読みたい！」をサポートします
 - (1) 県と市町村との協働による推進体制の強化 23
 - (2) 県民の寄贈によるリレー文庫の普及 23
 - (3) 青少年健全育成における読書活動の推進 24
 - (4) 高齢者への読書活動推奨 24
 - (5) 視覚障がい者の読書推進 24
 - (6) 民間企業・団体等との連携による読書活動の推進 24

- ◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます
 - (1) 「ビブリオバトル」の普及と大会開催 26
 - (2) 「読書絵はがきコンクール」の開催 27
 - (3) 幼少期からの読書活動推進体制の強化 27
 - (4) 「県民読書の日」の啓発 27
 - (5) 読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介 28

5 効果測定項目と数値目標・実績一覧 29

I はじめに

読書活動は、県民が人生を豊かに生きる上で大切なものであり、文化的で豊かな社会の構築にも寄与することから、県では、「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」（以下「条例」という。）を制定し、平成22年4月1日から施行している。

また、条例に基づき、平成23年3月に「第1次秋田県読書活動推進基本計画」（以下「第1次基本計画」という。）を、平成28年3月に「第2次秋田県読書活動推進基本計画」（以下「第2次基本計画」という。）を策定し、読書活動の推進に関する施策を総合的・計画的に進めている。

本報告は、条例第4条第2項に基づき、令和2年度に第2次基本計画により実施した施策を議会に報告するため、その概要を取りまとめたものである。

○ 秋田県民の読書活動の推進に関する条例【抜粋】

（県民読書活動推進基本計画）

第四条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、県民の読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「基本計画」という。）を策定するものとする。

- 2 県は、毎年、基本計画により実施した施策を議会に報告するものとする。
- 3 県は、必要があると認めるときは、基本計画を変更するものとする。

《 読書活動推進体制 》 令和3年4月1日現在

●秋田県読書活動推進基本計画の進行管理

秋田県読書活動推進本部 《知事を本部長とし、各部局長で構成》

●施策の一体的推進

秋田県読書活動推進連絡会
《庁内関係12課所で構成》

総合政策課	長寿社会課	障害福祉課
次世代・女性活躍支援課		
教育庁総務課	幼保推進課	義務教育課
高校教育課	特別支援教育課	生涯学習課
県立図書館	生涯学習センター	

●市町村との協働による推進

秋田県読書活動推進連絡協議会
《県と25市町村で構成》

市町村企画担当課
市町村教育委員会読書活動推進担当課
県企画振興部総合政策課
県教育庁総務課
県教育庁生涯学習課

◎事務局

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

秋田県読書活動推進本部（秋田県企画振興部総合政策課県民読書推進班）

TEL：018-860-1216

FAX：018-860-3873

E-mail：seisaku@pref.akita.lg.jp

*公式ウェブページ「あきたブックネット」<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/31730>

Ⅱ 第2次基本計画の概要と施策推進状況

第2次基本計画のねらい 生活の場に根付いた読書活動の推進

第2次基本計画の施策体系の4つの柱

- 1 家庭における読書活動の推進
- 2 学校・職場における読書活動の推進
- 3 地域における読書活動の推進
- 4 県民協働による読書活動の推進

県民運動推進の視点

- ・あなたの「読みたい！」をサポートします
- ・「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

目標(R2)

- 「本を読むのが好きだ」、「読書習慣がある」と答える県民の割合が80%以上
- 週3時間以上(1日30分以上)読書をしている人の割合が70%以上

県では、条例に基づき、第1次基本計画（平成23年度～27年度）により、県民の読書活動の推進に取り組み、「県民読書の日」の制定や県民参加の読書活動を展開した。また、市町村立図書館や公民館図書室、学校図書館を拠点とする地域の読書環境の充実に努めたほか、全市町村で「子ども読書活動推進計画」を策定するなどの成果を上げてきた。

第2次基本計画（平成28年度～令和2年度）では、「家庭」、「学校」、「職場」、「地域」という県民の生活の場に応じて、県民の共感を高めながら施策を展開し、読書環境の整備としてスーパーやコミュニティスペースなど県民の身近な所に図書コーナーを設置する取組や、人づくりとして読書活動に携わるボランティアの育成などを進めてきた。また、県公式ウェブサイトやSNS等を活用して読書に関する様々な情報を発信し、県民の読書意欲を喚起した。

令和2年度施策推進状況

1 家庭における読書活動の推進

家族で読書を楽しみ、読書習慣の形成と家族間のコミュニケーションを図るため、「家族で読書おすすめ50選vol.2」のパンフレットをウェブサイトに掲載し、家族で行う読書活動を推奨した。

SNSを活用し、子どもだけではなく大人への絵本の読み聞かせも推奨するなど、家庭における読書習慣の形成を図った。

また、読み聞かせお薦め絵本として選定した「あふれちゃんのえほんばこ」など県内外の読書に関する新しい情報や各種サービス・イベント等の情報を県のウェブサイトやSNSを活用して随時提供した。

県立図書館では、子どもの読書を推進するため、子ども向け資料の充実に図るとともに、メールや電話による子ども読書アドバイザー読書相談の実施や、図書館見学等で来館した児童に「子ども読書ノート」（令和2年2月改訂）の配布を行い、子どもの読書活動の啓発に努めた。

その他、中・高校生や高齢者の図書館利用を促進するため、「teens'コーナー」や「シニアコーナー」の資料を整備するとともに、多様な読書ニーズに対応できるよう、資料収集の方針に沿った選定を計画的に実施した。

2 学校・職場における読書活動の推進

就学前施設における読み聞かせを推奨するため、新規採用者を対象とした研修会を実施し保育者の読み聞かせに関する理解を深めた。

小・中・高等学校及び特別支援学校においては、子どもたちの発達段階に応じた読書活動をサポートする情報提供を行ったほか、校舎内の身近な場所に図書コーナーを設置するなどにより、読書意欲の喚起や読書環境の充実に努めた。

また、教育庁の専門職員が、小・中・高等学校を訪問し、学校図書館の環境整備や活用状況について把握するとともに、先進事例の紹介や改善のための助言を行った。

県立図書館では、高等学校・特別支援学校の図書館担当者からのリクエストを受けて、図書セット資料の更新を行い、児童生徒の読書環境の整備を支援したほか、県立図書館と相互協力協定を締結している大学図書館との間で、各館の所蔵資料を利用者が活用できるよう、相互貸借を推進した。

さらに、小・中・高等学校のセカンドスクールの利用による図書館職場体験を行い、校種別に合わせた体験内容を提供し、読書に対する関心や、図書館の仕事・役割について理解が深まったという声が数多く寄せられている。

3 地域における読書活動の推進

若者を中心とした県民の読書意欲を喚起するため、県民の注目度が高い県内の著名人による読書啓発動画を制作し、動画配信サイトYouTubeで配信した。

市町村立図書館等の利用促進に向けて、県立図書館や県子ども読書支援センターの資料の市町村立図書館等への貸出しや、要請があった学校図書館職員等を対象とした研修会へ、県立図書館の職員を派遣するなどし、研修支援を行った。

また、市町村立図書館や学校・保育園等において、読み聞かせ・朗読等を行う読書ボランティアを新規に養成するための講座を実施するとともに、ボランティアの技術向上を目指したステップアップ講座を開催した。絵本専門士を講師に招き、より専門的な内容の研修を実施し、子どもの読書活動の充実に図った。

10月17日(土)～11月3日(火)に秋田県読書フェスタを開催し、中学生・高校生ビブリオバトル全県大会等の県主催事業のほか、市町村の図書館・公民館等で、おはなし会や講演会等の読書イベントを集中的に開催し、地域における読書活動推進の気運を高めた。

4 県民協働による読書活動の推進

「秋田県読書活動推進連絡協議会」を開催し、県民の読書環境の充実にに向けた意見交換や優良事例の共有を行ったほか、第3次秋田県読書活動推進計画に市町村が主体的に担う役割を明記するなど、県と市町村が協働で、地域における読書環境の充実に取り組んだ。

県では、県民からの寄贈による「読んだッチ・リレー文庫」を保育所や児童クラブなどに配布し、子どもたちの身近な場所での読書環境づくりを推進したほか、秋田県青少年の健全育成と環境浄化に関する条例に基づき推奨する優良図書を県民に周知し、青少年健全育成における読書活動を推進している。

また、11月1日の「県民読書の日」制定記念事業として創設された「ふるさと秋田文学賞」の作品募集と受賞作品集の刊行を行い、県民の読書活動への関心を高めた。

秋田県点字図書館においては、ボランティアの協力により、点字図書や音声図書等の製作を行い、視覚障がい者の読書機会の充実に努めた。

県立図書館では、企業がスポンサーとなった雑誌の提供を受けることにより、雑誌コーナーの充実が図られたほか、書店団体等と連携したイベントなどを実施し、県民の読書活動を推進した。

県教育委員会では、子どもの発達段階に応じた効果的な読書活動を推進する人材を育成することにより、生涯にわたって読書に親しむことのできる習慣の形成を図るため、令和2年度から「子どもの読書習慣形成推進事業」を実施している。

令和2年度の実施内容としては、未就学児・小学生向け、中学生・高校生向けに分けた取組と、子どもの読書活動を推進する人材を育成する事業を行っており、内容は5ページに記載のとおりである。

令和2年度「子どもの読書習慣形成推進事業」について

○事業概要

県教育委員会では、子どもの発達段階に応じた効果的な読書活動を推進する取組と、子どもの読書活動を推進する人材を育成することにより、生涯にわたって読書に親しむことができる習慣の形成を図るため、令和2年度から「子どもの読書習慣形成推進事業」を実施している。

○取組内容

未就学児・小学生向け、中学生・高校生向けに分けた取組と、子どもの読書活動を推進する人材を育成する事業を次のとおり行った。

小学生までの読書習慣を形成

- ①調べ学習講座
小学生や教員等を対象とした百科事典の使い方講座
2会場 参加者数84名
- ②絵本でSDGs講座
小学生と保護者等を対象としたSDGsについての理解を深めるための絵本の読み聞かせ
1会場 参加者数16名



▲調べ学習講座

中学生・高校生の読書習慣を形成

- ①ビブリオバトル
・地区大会 7会場
出場者数80名（中学生50名 高校生30名）
実行委員（高校生）61名
・秋田県大会
出場者数13名（中学生7名 高校生6名）
※詳細は26ページに掲載
- ②ビブリオラジオ
ビブリオバトル秋田県大会に出場した中学生・高校生によるお薦め本を紹介するラジオ番組の放送
- ③SNSによる読書情報の発信
高校生のお薦め本を秋田県公式Twitter「あきたブックネット」 (@akita_dokusho) で紹介した。（28冊）



▲絵本でSDGs講座



▲ビブリオバトル秋田県大会

子どもの読書活動を推進する人材の育成

- ①読み聞かせボランティア養成講座（基礎講座）
3会場 参加者数84名
- ②読み聞かせボランティア養成講座（ステップアップ講座）
3会場 参加者数121名
※詳細は20ページに掲載
- ③学校図書館活性化支援研修
県内の小・中学校図書館担当教職員等を対象とした実務研修
2会場 参加者数74名



▲読み聞かせボランティア養成講座
（ステップアップ講座）

Ⅲ 読書活動推進施策

1 家庭における読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

(1) 「家族で読書」運動の提唱と普及

小学校新入生を対象として配布してきた「家族で読書おすすめ50選vol.2」パンフレットをウェブサイトに掲載し、家族で行う読書活動を推奨した。

また、SNSを活用し、子どもだけではなく大人への絵本の読み聞かせも推奨するなど、家庭における読書習慣の形成を図った。

「家族で読書おすすめ50選vol.2」パンフレット▶



パンフレットでは、「子どもに絵本を読み聞かせる時間は、大人にとっても読書を楽しむ時間です」と語りかけている。

❖参考DATA

週3時間以上（または1日30分以上）読書をする人の割合

: (R2) 44.2%

(2) 子どもの読書推進

①子ども向け資料の充実

県立図書館の「えほんのへや」「調べ学習コーナー」の資料の計画的な整備を図り、様々なテーマでの月替わりの絵本展示のほか、夏休み期間に合わせた児童書や人気のある児童文庫シリーズを集めての展示等を実施し、子どもの図書館利用を促進した。

❖参考DATA

県立図書館における0～12歳の年間新規登録者数 : (R2) 301人

②子どもの読書に関する相談活動、おはなし会等の充実

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、令和2年度は館内でのおはなし会や対面でのレファレンス・サービス*は休止した。メールや電話による子ども読書アドバイザーによる読書相談の実施や、図書館見学等で来館した児童に「子ども読書ノート」(令和2年2月改訂)の配布を行い、子どもの読書活動の啓発に努めた。

※レファレンス・サービス

資料・情報を求める利用者に対して図書館が行う文献の紹介・提供などの援助のこと。

子ども読書ノート▶
(令和2年2月改訂版)



お気に入りの本の記録や感想が記載できる

③医療・保健分野との連携による子どもの読書習慣づくり

子育て支援の視点で市町村立図書館等を紹介するリーフレット「絵本であそぼ！－8地域版－」について、ウェブサイトで紹介し、幼少期からの読書習慣の大切さと図書館利用を呼びかけた。

(3) 中・高校生の読書推進

県立図書館の「teens'コーナー」の資料の一層の充実を図り、進路・趣味・部活・心や体など、ティーンズ世代の悩み解決に役立つ本や、ティーンズ向けの絵本、雑誌のほか、一般向けの資料からティーンズにお薦めしたいものを選びコーナーを設置するなどして、中・高校生の図書館利用を促進した。



▲ teens'コーナー

❖参考DATA

県立図書館における13～18歳の年間新規登録者数：(R2) 204人

(4) 高齢者の読書推進

①高齢者向け資料の整備、シニアコーナーの充実

県立図書館の「シニアコーナー」に興味や生きがいに関する資料を整備し、多様なジャンルの大活字本を収集・提供して、高齢者の図書館利用を促進した。

シニアコーナー▶



❖参考DATA

県立図書館における60歳以上の年間新規登録者数：(R2) 249人

②高齢者などへの読書支援

視力が低下した高齢者や障がい者のためのボランティアによる朗読サービス(電話、対面、録音データの送付)や、障がい者と健常者が一緒に参加できる朗読会等の情報について、ウェブサイトやSNS等で周知を図った。

また、インターネット環境がない高齢者などであっても「ふるさと秋田文学賞」の受賞作品を読むことができるように、作品本文のコピーを郵送するサービス(送料は本人負担)を行い、4件の利用があった。

❖参考DATA

電話(対面)朗読ボランティア活用者数:(R2)4人

※秋田市立図書館では、次の朗読ボランティアグループが電話(対面)朗読サービスを行っている。R2は、新型コロナウイルス感染防止のため、例年開催されている朗読会は開催されなかった。

・レモンの会(明德館) (R2) 電話朗読 59件
対面朗読 10件

※電話朗読のほか、録音したCDやUSBメモリを送付するサービスも行っている。

・かもめ(土崎図書館) (R2) 電話朗読 202件

(5) 図書館の利便性向上と利用促進

①県立図書館の資料の整備と充実

多様な読書ニーズに対応できるよう、資料収集方針に沿った選定を計画的に実施した。また、複数の専門的な外部機関等から資料選定について協力を得て、所蔵資料の充実を図ったほか、所蔵資料の資料展示を月替わりで複数実施し、利用促進につなげた。

❖参考DATA

県立図書館における年間購入冊数:(R2)14,988冊

②生活課題解決のための読書や図書館利用の促進

県立図書館における健康や介護、子育てなど、生活上の課題解決のための資料整備を行った。専用コーナーとして設置しているがん情報コーナーでは、常に新しい情報を得られるよう関連パンフレットの更新に努めた。なお、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、例年実施しているがん情報セミナーや金融セミナー等は中止した。



▲生活支援コーナー



▲がん情報コーナー

❖参考DATA

「課題解決支援サービスを知っている」と答える利用者の割合《隔年調査》
: (R元) 66.9%

「課題解決支援サービスに満足している」と答える利用者の割合《隔年調査》
: (R元) 67.9%

市町村立図書館等のサービス実施館数 : (R2) 55館

③県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化

多様なニーズに対応できるよう、県立図書館の参考図書や商用データベースの整備のほか、職員の資質向上のための研修を実施することにより、レファレンス・サービス機能を強化した。

❖参考DATA

「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合《隔年調査》
: (R元) 53.1%

「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合《隔年調査》
: (R元) 84.0%

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

(1) 読み聞かせにお薦めの絵本の紹介

親と子どもが心のふれあいを深め、子どもの情感を大切に育むことができるように、0歳から小学校低学年までの児童を対象とした読み聞かせに適した絵本を選定し、リーフレット「あふれちゃんのえほんばこ」により推奨するとともに、毎週日曜日の秋田魁新報読書欄のほか、あきたの結婚・子育て応援情報ウェブサイト「いっしょにねっと。」及びTwitter「あきたブックネット」へ掲載し紹介した。



◀ 県児童会館 2 F 図書室にて貸出を行っている絵本

(2) ホームページやブログ等を活用した情報発信

県立図書館のサービスやイベント等の情報を、ウェブサイトやFacebookページ、県立図書館の広報紙「県立図書館だより」等を活用して、定期的に発信し、図書館の利用促進を図った。

また、県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」内の特設ページ「あきたブックネット」で施策やイベント等の情報を発信したほか、Twitter「あきたブックネット」では県内外の読書に関する新しい情報を随時提供した。



▲ 県立図書館Facebookページ
館内の様々な利用案内やイベントの様子を毎日発信している。



▲ Twitter「あきたブックネット」
県内の書店や図書館と相互フォローし、県内外の読書に関する新しい情報を随時発信している。

❖ 参考 DATA 《アクセス数 (R2)》

県立図書館ホームページ	241,514件
Twitter「あきたブックネット」	1,407,319件

2 学校・職場における読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

(1) 就学前施設における読み聞かせの推奨

幼稚園・保育所・認定こども園等の訪問時において、教材としての「絵本」の意義や、子どもが喜んで「絵本」に関わるための環境構成について、適宜助言を行った。

また、新規採用者に対しては、「豊かな心を育む絵本の読み聞かせ」と題し、読書及び読み聞かせに関する研修を実施し、保育者の読み聞かせに関する理解を深めた。



◀新規採用者研修の様子

○開催状況

令和2年 9月4日(金)

令和2年12月2日(水)

於 秋田県総合教育センター

○講師

田丸 美穂氏(県子ども読書支援センター
子ども読書アドバイザー)

○参加者数 133名

❖参考DATA

受講者の肯定的評価の割合:(R2)90.0%

(2) 子どもの発達の段階に応じた読書活動支援

①小・中学校における取組

各学校の児童生徒の読書推進につながるよう、ボランティアによる読み聞かせやビブリオバトル、書籍の紹介、学級文庫の活用等、児童生徒の発達の段階に応じた読書活動支援に関わる先進的な取組について、情報提供を行った。

また、学校図書館・公立図書館・ボランティア等の連携による読書環境の充実についての情報を提供し、読書活動を支援した。

❖参考DATA

「読書が好き」と答える児童生徒の割合

《R2は調査なし》:(R元)49.3%

②高等学校における取組

読書への意識啓発と図書委員会*の主体的な活動の充実を図るとともに、家庭科の学習等において、絵本の読み聞かせの実習を奨励するなど、将来、親になったときに子どもに読み聞かせをすることの意義について理解を深めた。

図書館活性化モデル校の先進的な取組について、協議会等で情報共有を図るとともに、学校訪問の機会に情報提供を行った。

※図書委員会

生徒会活動の一つで、学校図書館に関する活動を行う委員会。

③特別支援学校における取組

学校訪問や会議の機会に、読書環境の重要性について情報提供し、更なる取組の実施を働きかけた。

各校では、校舎の様々な場所を活用して幼児児童生徒の身近な場所に図書コーナーを設置し、手に取りやすく、興味・関心を高める工夫をするなど、環境の充実を図った。また、県立図書館等のセット貸出しを積極的に利用して、より多くの選択肢の中から本を選ぶことができるようにした。地域ボランティアの活用や委員会活動等での読み聞かせ活動を通して、読書に親しむ機会を積極的に取り入れている。

❖参考DATA

校内の読書環境の整備と改善に定期的に取り組んでいる特別支援学校の割合
: (R2) 100%

(3) 学校図書館の活性化支援と地域開放

①情報提供や貸出しによる支援

小・中・高等学校18校を訪問し、学校図書館の環境整備や活用状況について把握するとともに、先進事例の紹介や改善のための助言を行った。

県立図書館の貸出しによる支援では、高等学校・特別支援学校の図書館担当者からのリクエストによるテーマや、SDGs関連の図書セット資料の更新を行い、児童生徒の読書環境を整備した。

○令和2年度文部科学大臣表彰

【子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体】

- ・秋田市立保戸野小学校、湯沢市立湯沢南中学校、秋田県立十和田高等学校
- ・美郷町学友館
- ・図書館ボランティア たまてばこ（北秋田市）

❖参考DATA

訪問により先進事例の紹介や助言を行った学校数 : (R2) 18校

▼学校図書館の取組の様子▼



❖参考DATA

県立図書館から学校図書館への年間貸出冊数：(R2) 19,539冊

県立図書館の学校向け図書の年間購入冊数：(R2) 2,177冊

②県立学校図書館職員等への研修機会の提供

新型コロナウイルス感染防止対策のため、例年実施している学校図書館職員等研修会は、令和2年度は中止したが、要請があった学校図書館職員等を対象とした研修会へ、県立図書館の職員を派遣するなどし、研修支援を行った。

❖参考DATA

「研修に満足した」と答える参加者の割合：(R2) 研修会の実施なし

③地域開放に向けた取組

保護者や地域の人々の協力による学校図書館の環境整備や図書室だより等による家庭や地域への学校図書館の活動に関する周知など、学校図書館に関わる活動をきっかけとした学校と地域との連携につながる取組について情報提供を行った。

❖参考DATA

「週1回以上学校図書館等に行く」と答える児童生徒の割合

《R2は調査なし》：(R元) 15.8%

❖参考DATA

学校図書館を地域に開放している学校の割合：(R2) 1.7%

(4) 大学図書館と県立図書館との連携強化

県立図書館と相互協力協定を締結している大学図書館(秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学)との間で、各館の所蔵資料を利用者が活用できるよう、相互貸借を推進した。

❖参考DATA

県立図書館と大学図書館との相互貸借における

年間貸出冊数：(R 2) 75冊

年間借受冊数：(R 2) 66冊

(5) 職場における読書環境の整備

①企業内文庫の設置

前年度まで展開していた読書活動推進パートナー支援事業を利用して設置された図書コーナーは、設置施設の従業員や関係者等にも利用されており、職場における読書環境の整備につながっているため、設置状況をウェブサイトに掲載し、図書コーナーの利用促進を図った。

②女性の活躍を応援する読書活動の推進

Twitter「あきたブックネット」を活用し、通院や買い物の折に本に親しむことができるように読書活動推進パートナー支援事業で設置した図書コーナーの周知を図ったり、女性に人気のある本を紹介するなどにより、読書意欲の向上を図った。

❖参考DATA 《R 2 県民意識調査》

「1日平均30分以上読書をしている」と答えた人の割合

30歳代：33.2%

40歳代：37.9%

「1日平均30分以上読書をしている」と答える女性の割合 45.0%

(6) 仕事や就労に関連する読書支援

仕事上の課題解決や就労のための資格取得等を支援するため、県立図書館において、資料の整備や関係機関のパンフレットの提供、SNSを活用してのコーナーの紹介や月替わりのビジネス関連本の展示などを実施し、「ビジネス支援コーナー」の充実を図った。なお例年実施しているビジネスセミナーは新型コロナウイルス感染防止の観点から、令和2年度は中止した。

ビジネス展示
(ビジネス支援コーナー)



❖参考DATA

「ビジネス支援サービスを知っている」と答える利用者の割合《隔年調査》

: (R元) 64.1%

「ビジネス支援サービスに満足している」と答える利用者の割合《隔年調査》

: (R元) 60.0%

市町村立図書館等のビジネス支援サービス実施館数 : (R2) 21館

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

○ 児童・生徒・学生の読書への興味・関心を高める取組

①小・中学生が主体的に読書ができるような授業づくりの紹介

児童生徒が図書資料を活用することにつながる授業実践や国語科と連携したビブリオバトルの実践、また、各教科等の学習に関連した図書コーナーの設置など、各学校で読書への興味・関心を高める教育活動について情報提供を行った。

②高校生の主体的な読書活動の充実

社会に出てからも読書時間を確保し、生涯にわたって読書に関心を持つことができるよう、学校間での先進事例の共有化を図った。

また、ビブリオバトルへの積極的な参加を促すとともに、地区大会では高校生による実行委員が企画・運営に加わることで、主体的に読書活動に取り組み、仲間づくりやコミュニケーション力の向上につながる機会を提供した。

○開催状況

<地区大会>

出場者数合計 80名 (中学生50名、高校生30名)

実行委員合計 61名

- ・北鹿大会：10月31日(土) 大館市北地区コミュニティセンター
中学生6名・高校生6名出場/実行委員：14名
- ・能代大会：11月3日(火) 能代山本広域交流センター
中学生6名・高校生3名出場/実行委員：13名
- ・秋田大会：10月17日(土) ふれあーるAKITA
中学生5名・高校生7名出場/実行委員：7名
- ・由利本荘大会：10月3日(土) 由利本荘市文化交流館カダーレ
中学生1名・高校生6名出場/実行委員：8名
- ・大仙大会：10月24日(土) 大仙市大曲交流センター
中学生10名・高校生1名/実行委員：6名
- ・横手大会：10月25日(日) 横手市交流センターY²ぷらざ
中学生12名出場

- ・湯沢大会：11月1日（日）湯沢市役所
中学生10名・高校生7名出場／実行委員：13名

<秋田県大会>

- 11月23日（月）秋田拠点センターアルヴェ
各地区大会代表の13名（中学生7名、高校生6名）が参加
※開催内容の詳細については、26ページを参照

❖参考DATA

- 1か月に1回以上学校図書館等を利用する高校生の割合：(R2) 20.1%
- 1か月に本を1冊以上読む高校生の割合：(R2) 61.4%

③特別支援学校における読書活動の充実

学校訪問や会議の機会に、読書環境の重要性について情報提供し、更なる取組の実施を働きかけた。各校では、全校読書タイムを設けたり、地域のボランティアによる読み聞かせを取り入れたりすることで、本に親しむことができる機会を数多く設けた。読書量を視覚化する掲示等により、読書活動への意欲付けを図る取組も行われている。



◀高等部生徒による、小学部児童への「読み聞かせ活動」

❖参考DATA

- 特別支援学校において様々な読書活動に関わり、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合：(R2) 100%

④図書館における読書への興味・関心を高める取組

県立図書館において、小・中・高・特別支援学校のセカンドスクール*的利用(6校・79人)の受け入れを実施した(新型コロナウイルス感染防止の観点から、10月からの実施)。校種別に合わせた体験内容を提供することにより、図書館の仕事や役割について理解を深めるとともに、読書に対する関心を高める取組を行った。なお、利用した生徒へのアンケートでは、図書館の仕事や役割について理解したという声が寄せられた。

※セカンドスクール

児童生徒が学校を離れた場所で、様々な自然体験や社会体験を行う授業。図書館においては図書館職員の体験を行う。

❖参考DATA

「セカンドスクールの利用等に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合
：(R2) 100%

「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合
：(R2) 100%



▲セカンドスクールにおける施設見学・職場体験の様子▲

3 地域における読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

(1) 様々なシーンで読書に親しむ活動の推進

① プロスポーツチーム等との連携による読書活動の推進

若者を中心とした県民の読書意欲を喚起するため、県民の注目度が高い県内の著名人による読書啓発動画を制作し、動画配信サイトYouTubeで配信した。

<私と読書>

フリーアナウンサー相場詩織「おすすめの一冊」紹介動画



②県児童会館での子どもの読書活動の推進

県子ども読書支援センター*が、県児童会館図書室に対し、子ども向けの図書の貸出しや、図書室の運営についての支援を引き続き行い、子どもが本に触れ、読書の楽しさを体験する機会を増やした。

※県子ども読書支援センター

子どもの読書活動に関する広報、啓発、調査研究活動や各種イベントの開催を行うことを目的に県立図書館内に設置されている。同支援センタースタッフが「えほんのへや」で子どもの読書に関する相談を受け付けるほか、県内の読書ボランティア団体や学校図書館、保育園、幼稚園を対象に読み聞かせ資料の貸出し等も行っている。

令和2年度は、読み聞かせの実施や対面での読書相談の実施はできなかったが、「子ども読書ノート」の配布等の活動を始め、幼少期から読書習慣が子どもに根付くよう、関係団体への貸出を中心に活動した。

❖参考DATA

県子ども読書支援センターから県児童会館図書室への資料貸出冊数

: (R2) 619冊

③「子ども読書の日」の周知と取組奨励

「子ども読書の日」啓発ポスターを幼稚園や学校、社会教育施設等に配布し周知を図るとともに、「こどもの読書週間」における市町村の読書関係事業の取組(全県176イベント)の情報を文部科学省のサイト「子ども読書の情報館」へ提供した。

2020年度「子ども読書の日」ポスター▶



○子ども読書の日

「子どもの読書活動の推進に関する法律」で4月23日が「子ども読書の日」と定められている。

これは、シェイクスピア(英国)とセルバンテス(スペイン)の命日である4月23日をユネスコが「世界・本と著作権の日」と宣言していることにちなむ。

○サン・ジョルディの日

日本では出版関係団体が、4月23日を親しい人に本を贈る「サン・ジョルディの日」として呼び掛けている。

(サン・ジョルディはスペインの守護聖人名。カタルーニャ地方では命日に本の市が立ち、花と共に本を贈り合う習慣がある。)

④生涯学習としての読書活動の奨励

県民の総合的な生涯学習講座「あきたスマートカレッジ」の中で、『県民読書おすすめ講座～「令和」からみた古典の世界～』(全6回)、

『北条常久特別講座～「昭和時代」自由と美 そして平和を求めて～』（全4回）、『あきたチャレンジゼミ』【絵本編】（全2回）を開催したほか、講座受講者が中心となって発足した自主学習グループが、合わせて24回の自主企画講座を開催した。



▲「県民読書おすすめ講座」の様子



▲秋田文学愛好会「公開講座」の様子

❖参考DATA

講座や読書活動で生涯学習手帳を活用している市町村の割合
: (R2) 100%

生涯学習手帳の活用について

○学習単位の認定

1単位：①県や市町村、大学、関連団体、企業等が主催する事業や講座の受講
90分
②個別学習（放送大学1講座、読書1冊、博物館・美術館等の見学）
③奨励活動（講座の指導者、ボランティア活動等）

○称号の授与

☆わか杉・マナビスト	50単位修得・・・高校生以下が対象
☆ブロンズ・マナビスト	100単位修得
☆シルバー・マナビスト	300単位修得
☆ゴールド・マナビスト	500単位修得
☆プラチナ・マナビスト	1,000単位修得+論文提出 または、2,000単位修得

（2）市町村立図書館等の利用促進

①地域の人材や資料等の特徴を生かした利用促進

県や市町村の読書推進担当者が集まる会議等において、「子ども読書活動推進計画」の策定状況に関する情報提供や改定の呼びかけ、県教委の取組に関する情報提供を行った。

また、学校図書館を訪問し、先進的な取組事例等に関する情報提供を行った。

②県立図書館の支援による利用促進

県立図書館や県子ども読書支援センターの資料を市町村立図書館等へ貸し出し、住民の図書館利用や読書活動を支援した。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、例年実施している定期の訪問事業は中止したが、要請があった市町村等へは訪問、資料提供、メールや電話等でその都度助言や情報提供した。

市町村立図書館向けセット資料を貸出し▶



❖参考DATA

県立図書館から市町村立図書館等への年間貸出冊数：(R2)	18,865冊
県立図書館への市町村立図書館等からの相談件数：(R2)	63件

③市町村立図書館等職員の育成

新型コロナウイルス感染防止対策のため回数は限られたが、感染対策を講じた上で、市町村図書館等職員を対象とした図書館運営に関する研修の場を設け、実施した。



▲県立図書館での研修の様子



▲出前型研修会の様子

❖参考DATA

「研修に満足した」と答える参加者の割合：(R2) 100%

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

(1) 読書ボランティア等への支援

①地域の読書活動を支える人づくり

市町村立図書館や学校・保育園等において読み聞かせ・朗読等を行う読書ボランティアを新規に養成するための基礎講座を県内各地区において実施した。

また、県内で活動している読み聞かせボランティアの技術の向上を目指したステップアップ講座を開催した。令和2年度は、絵本専門士を講師に招き、より専門的な内容の研修を実施し、子どもの読書活動の充実を図る機会となった。

○「読み聞かせボランティア養成講座（基礎講座）」

3会場（北秋田市、秋田市、横手市） 参加者合計84名

○「読み聞かせボランティア養成講座（ステップアップ講座）」

3会場（北秋田市、秋田市、大仙市） 参加者合計121名

【参加したボランティアの感想】

- ・絵本が子どもたちに与える影響の大きさ、奥深さについて学ぶことができた。
- ・絵本を読むことの楽しさ、見つけ方、大切さがよく理解できた。
- ・1冊の本の様々な楽しみ方があることを知った。



▲読み聞かせボランティア養成講座
（基礎講座）



▲読み聞かせボランティア養成講座
（ステップアップ講座）

❖参考DATA

「研修に満足した」と答える参加者の割合：（R2）97.1%

❖参考DATA

○読書ボランティアの活動状況

- ・地域内のみで活動しているボランティアが多く、広域的な交流の機会やネットワークの形成が課題となっている。
- ・県内の公立図書館等で活動するボランティア団体数（各教育事務所調査より）

	県北地区	中央地区	県南地区	合計
H30	32	52	26	110
R元	29	52	26	107
R2	31	50	24	105

②読み聞かせ団体等への活動支援

県内の読み聞かせ団体等の活動を支援するため、県立図書館と県子ども読書支援センターがボランティア団体等への資料の貸出しを行った。

❖参考DATA

子ども読書支援センターからボランティア団体等への年間貸出冊数
: (R2) 5,420冊
県立図書館からボランティア団体等への年間貸出冊数 : (R2) 499冊

(2) 「秋田県読書フェスタ」の開催

10月17日(土)～11月3日(火)に秋田県読書フェスタを開催し、全県で197イベントを実施した。期間中は、中学生・高校生ビブリオバトル大会等の県主催事業のほか、市町村の図書館・公民館等で、おはなし会や図書展示、講演会等が行われ、子どもから大人まで幅広い世代の県民に、読書に親しむ機会を提供した。

❖参考DATA

「秋田県読書フェスタ」における県主催の読書イベントの参加人数
: (R2) 574人

(3) デジタルアーカイブの活用促進

県内の教育機関や県立図書館等が所蔵している資料等の情報を一元的に検索できるポータルサイト「秋田県立図書館デジタルアーカイブ」への登録を積極的に行い、県民への情報提供サービスを行った。

❖参考DATA

秋田県立図書館デジタルアーカイブの登録データ数
: (R2) 610,943件
閲覧回数 : (R2) 24,705件

※デジタルアーカイブ

参加機関

県立図書館、あきた文学資料館、
県立博物館、近代美術館、
埋蔵文化財センター、
生涯学習センター、公文書館



4 県民協働による読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

(1) 県と市町村との協働による推進体制の強化

「秋田県読書活動推進連絡協議会」の全体会と地区会議を開催し、県民の読書環境の充実に向けた意見交換や優良事例の共有を行ったほか、第3次秋田県読書活動推進計画に市町村が主体的に担う役割を明記するなど、県と市町村が協働で地域における読書環境の充実に取り組んだ。

令和2年度秋田県読書活動推進連絡協議会の活動

○全体会と県内3地区の地区会議を開催

全体会	令和2年5月26日(火)	書面開催
地区会議	県央地区	令和2年7月29日(水) 男鹿市
	県北地区	令和2年7月31日(金) 三種町
	県南地区	令和2年8月3日(月) 湯沢市

○役員

会長	総合政策課長
副会長	県北地区 三種町教育委員会次長
	県央地区 男鹿市企画政策課長
	県南地区 湯沢市生涯学習課長

※任期2年

○構成

市町村	企画担当課長／教育委員会読書活動推進担当課長
県	総合政策課長／教育庁総務課長・生涯学習課長

(2) 県民の寄贈によるリレー文庫の普及

読んだッチ・リレー文庫
子どもたちに読書の楽しさをリレーします

県民のみなさまから、ご家庭で読んでいた絵本や児童書を寄贈していただき、希望する保育所などに文庫を設営して、子どもたちが本に親しむ環境づくりを進めていく取組です。

募集する本
乳幼児～小学低学年の「絵本・児童書」
読みたいという本は、一冊ずつお手持ち入れをして、各施設に寄贈いたします。

寄贈の受付窓口
公立図書館、若狭村公民館、公民館図書室で受け付けています。
カウンスラーは随時対応いたします。

文庫のお申し込み
○1冊・2冊・5冊コースが選べます。
○子どもの年齢に合わせた寄贈をします。
○電話やFAXでお申し込みください。
○送迎する図書館、公民館図書室、公民館、読書会、子どもたちが利用する集会所をリストアップいたします。

秋田県 総合政策課 県民読書推進班
電話 018-860-1216
FAX 018-860-3873
【受付時間 平日9時～17時】
あきたブックネット

子どもたちの身近な場所での読書環境づくりや、大人の読み聞かせを進めるため、県民から寄贈された絵本や児童書を手入れした上で、保育所や児童クラブなどに配布し、子どもたちに読書の楽しさをリレーした。

◀「読んだッチ・リレー文庫」のポスター

◆参考DATA

読んだッチ・リレー文庫の状況：(R2)

寄贈冊数 872冊、寄贈者数 41人

配布施設数 25か所

(3) 青少年健全育成における読書活動の推進

秋田県青少年の健全育成と環境浄化に関する条例に基づき青少年の健全な育成を図る上において有益な図書を推奨するために、県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」への掲載などにより、県民への周知を図った。

2020年11月27日推奨 優良図書

ずっと見つめていた

作: 森島 いずみ 発行所: 株式会社偕成社

■推奨理由

小6の越(えつ)の一家は、妹つぐみの化学物質過敏症が治らないため、埼玉県から富士山に見える山梨県に引っ越す。都会から大きく環境が変わった越は、複雑な思いを抱えながら引っ越し先の中学校に通うが、そこで出会った人たちとの関わりの中で大切なことを考えていく。

由利本荘市出身の著者の実体験をもとに書かれた、ある家族の再生の物語であり、化学物質過敏症という現代的課題についても身近に感じ、理解を深めながら読み進めることができる作品である。(令和2年3月出版)



(4) 高齢者への読書活動推奨

高齢者の読書活動推進のため、イベント等での図書館から大活字本を借用しての紹介等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたイベントが中止・縮小する中で紹介を行うことが難しかった。令和3年度は、高齢者施設訪問の際など、イベント以外の機会も利用し読書活動推奨に取り組んでいく。

(5) 視覚障がい者の読書推進

障がい者の読書機会の充実を目指して、秋田県点字図書館においてボランティアを中心に点字図書や音声図書等の製作を行い、視覚障がい者への図書提供サービスの向上に努めた。

- 製作 点字図書 : 193タイトル
- 音声図書 : 143タイトル
- 貸出し 点字図書 : 411タイトル
- 音声図書 : 7, 323タイトル
- 定期刊行物 : 9, 912タイトル

(6) 民間企業・団体等との連携による読書活動の推進

①雑誌スポンサー制度*の充実

企業が雑誌のスポンサーとなり、県立図書館や市町村立図書館等への雑誌の提供を行い、雑誌コーナーの充実を図った。

また、県立図書館では、企業活動を県民に周知するための雑誌スポンサー紹介コーナーを設置し、県立図書館雑誌スポンサーからその専門的な知識を生かした図書館資料選定の協力を得て、選定図書の特集展示を行った。



▲雑誌スポンサー紹介コーナー



▲雑誌スポンサー選定図書展示

※雑誌スポンサー制度

図書館の雑誌に民間企業等の情報発信を組み込み、雑誌コーナーの充実を図ることを目的とした資料寄贈の制度。選書は図書館で行い、スポンサー企業は購読料を負担する。対象となる雑誌には専用カバーを取り付けてあり、スポンサーとなっている企業名や広告を表示することができる。

❖参考DATA

公立図書館のスポンサー企業数：(R2) 72企業

②外部機関等と連携した図書館利用促進

県立図書館の情報提供機能を一層充実させるため、県の関係機関等と連携した展示等を行った。また、県立図書館以外でも県立図書館の資料を利用できるよう連携団体先へ資料の貸出を行った。



▲近代美術館と連携した特別展示



▲秋田県総合公社への団体貸出コーナー

❖参考DATA

外部機関等と連携したイベント開催回数：(R2) 47回

イベント参加者数：(R2) 9,285人

③書店団体等と連携した読書活動の推進

秋田県書店商業組合と連携して、SNSを活用した県出身著名人等のサイン本をプレゼントする「冬はほっこり。県民読書推進キャンペーン」を実施し、県民の読書活動を推進した。



▲冬はほっこり。県民読書推進キャンペーン

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

(1)「ビブリオバトル」の普及と大会開催

中学生・高校生ビブリオバトルの地区大会を県内7地区で実施し、80名が出場した。11月23日(月)の秋田県大会には地区代表の13名が出場した。



◀秋田県大会に出場した中・高校生バトラー

○令和2年度ビブリオバトル秋田県大会で紹介された本

【中学生の部】

「人財島」(根本 聡一郎/著) **チャンプ本**

「ひと」(小野寺 史宜/著) **準チャンプ本**

「永遠の0」(百田 尚樹/著)

「片想い探偵 追掛日菜子」(辻堂 ゆめ/著)

「家庭教室」(伊東 歌詞太郎/著)

「走れメロス」(太宰 治/著)

「まんがでわかる 頭に来てアホとは戦うな！」(田村 耕太郎/著)

【高校生の部】

「あずかりやさん」(大山 淳子/著) **チャンプ本**

「蜜柑」(芥川 龍之介/著) **準チャンプ本**

「あなたのゼイ肉、落とします」(垣谷 美雨/著)

「きのうの影踏み」(辻村 深月/著)

「夢をかなえるゾウ」(水野 敬也/著)

「ループ・ループ・ループ」(桐山 徹也/著)

❖参考DATA

ビブリオバトル参加後「読書がしなくなった」と答える参加者の割合

: (R2) 90.3%

(2) 「読書絵はがきコンクール」の開催

「読書絵はがきコンクール」は実施しなかったが、学校図書館の訪問時に、手書きのイラストや言葉をお薦め本に添えて紹介するPOPの活用について情報提供した。

(3) 幼少期からの読書活動推進体制の強化

市町村の読書推進担当者が出席する会議等において、「子ども読書活動推進計画」の策定状況や県教委が実施する施策について報告し、子どものための読書環境整備への理解と協力を求めた。

また、市町村訪問等の機会を活用して読書推進を担う現場の課題やニーズを把握して施策への反映に努めた。

(4) 「県民読書の日」の啓発

11月1日の「県民読書の日」制定記念事業として創設された「ふるさと秋田文学賞」の作品募集と受賞作品集の刊行を行い、県民の読書意欲を喚起した。

第7回「ふるさと秋田文学賞」

○受賞作品

【小説の部】

《ふるさと秋田文学賞》

赦し

常田 あさこ (宮城県仙台市)

《同 佳作》

近かったり遠かったりするもの

青山 トーゴ (神奈川県横浜市)

【随筆・紀行文の部】

《ふるさと秋田文学賞》

蚕のなぐさめ

春野 昌和 (秋田県横手市)

《同 佳作》

消えゆく集落の記

鹿住 敏子 (埼玉県白岡市)

○応募状況

・応募作品数 132点 (小説77点 随筆・紀行文55点)

・県内45点 県外87点

❖参考DATA

「ふるさとの文学と読書のつどい」参加者アンケートで、
「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合
:(R2) つどいの開催なし



第7回ふるさと秋田文学賞受賞作品集▶

(5) 読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介

若者を中心とした県民の読書意欲を喚起するため、本に関連した特長のある取組をしているお店や読書に関連した情報を発信している人などを取材し、SNSやウェブサイトで紹介した。

あきたブックネット
@akita_dokusho

【まち&BOOKS】湯上市・Bakery ALTocoさん
物語性あふれるディズニーの世界観が大好きなご夫婦が営むユニークなパン屋さん🍞香ばしい香りに満たされた店内には、日本の昔話や世界の童話をモチーフにしたパンがおいしそうに並びます🍞つけられた名前からストーリーを思い描きながらパンを選ぶ楽しみも🥰

午前9:57 · 2021年1月22日 · Twitter for Android

1件のリツイート 6件のいいね

#10 木村加奈子さん (北秋田市)
絵本セラピスト協会認定基礎絵本セラピスト®
『読書で「わたし」がつくられる』

絵本セラピー®について

大人にこそ絵本を手にとって欲しい。「絵本は子どもの読む本」多くの人が勘違いしている点です。絵本は文章量が少なく、絵が多い。だからこそ、内容が分かりやすく印象にも残りやすい。絵本セラピーをする中で、参加者の皆さんが、絵本の読み聞かせを通して、感じたり考えたことに、自然と意味づけをしたり、行動変容のきっかけにする姿を見るたびに、「もっと多くの人たちに絵本を手にとって欲しい」と強く感じます。

その日、その時によって、絵本からのメッセージは変わります。絵本自体に力があるのではなく、読むこともしくは読み聞かせしてもらうことで、無意識に意味づけをして、思考が整理されたり、湧き上がってくるものがあるのだと思います。

短時間で読むことができる絵本。思いがけず出会う奥深さ。未知の自分と出会うきっかけになるかもしれません。

私の一冊 ～本と人をつなぐ人になりたいと思わせてくれる本

『お探しの物は図書館まで』 青山菜智子

「私もこんな存在になりたい。」読後、いえ、読んでいる最中から、強く感じた本です。普段から本を読む時、気に入ったフレーズをメモしながら読んでいます。また、絵本に限らず、様々なジャンルの本を読むようにしています。2020年一番気に入った本がこちらです。登場する可憐さんの「聞く力」「レファレンス力」がとにかく素晴らしい。そして、1冊の本との出会いで変容していく登場人物達が魅力的です。

▲「まちなかBOOKリーダー」の取組をウェブサイトで紹介

▲本に関連したお店の取組などをTwitterで紹介

5 効果測定項目と数値目標・実績一覧

(表の見方)

- ◆「施策の柱」欄
 - I 家庭における読書活動の推進……………19項目
 - II 学校・職場における読書活動の推進……………21項目
 - III 地域における読書活動の推進……………13項目
 - IV 県民協働による読書活動の推進……………11項目
 - 計 64項目

施策の柱	施策	効果測定項目	数値実績						ページ	
			H27	H28	H29	H30	R元	R2		R2目標
1	「家族で読書」運動の提唱と普及	週3時間以上(または1日30分以上)読書をする人の割合	54.4%	47.9%	40.1%	44.1%	43.8%	44.2%	70.0%以上	6
2	子ども向け資料の充実	0～12歳の年間新規登録者数	510人	450人	455人	451人	463人	301人	570人	6
3	子どもの読書に関する相談活動、おはなし会等の充実	相談件数	140件	139件	224件	286件	332件	81件	150件	6
4		おはなし会実施回数	21回	24回	24回	24回	23回	—	23回	—
5		おはなし会参加人数	580人	592人	577人	676人	663人	—	690人	—
6	医療・保健分野との連携による子どもの読書習慣づくり	協力病院等数	—	184施設	179施設	—	—	—	50施設	—
7	中・高校生の読書推進	13～18歳の年間新規登録者数	219人	201人	157人	179人	155人	204人	300人	7
8	高齢者向け資料の整備、シニアコーナーの充実	60歳以上の年間新規登録者数	297人	292人	277人	260人	275人	249人	360人	7
9	高齢者などへの読書支援	電話(対面)朗読ボランティア活用者実数	9人	11人	14人	12人	22人	4人	50人	8
10	県立図書館の資料の整備と充実	年間購入冊数	14059冊	14,894冊	13,967冊	14,250冊	14,063冊	14,988冊	※1 約13,500冊	8
11	生活課題解決のための読書や図書館利用の促進	「取組を知っている」と答える利用者の割合	4.0%	隔年調査	68.0%	隔年調査	66.9%	隔年調査	30.0%	9
12		「取組に満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時調査	85.9%	上記と同時調査	67.9%	上記と同時調査	60.0%	9
13		市町村立図書館等のサービス実施館数	40館	43館	51館	56館	56館	55館	50館	9
14	県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化	「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合	33.0%	隔年調査	59.6%	隔年調査	53.1%	隔年調査	50.0%	9
15		「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時調査	91.1%	上記と同時調査	84.0%	上記と同時調査	60.0%	9
16	電子書籍を活用した図書館サービスの充実	電子書籍所蔵点数	4,906点	4,906点	4,906点	4,906点	—	—	10,000点	—
17		年間利用点数	289点	70点	24点	84点	—	—	1,000点	—
18	ホームページやブログ等を活用した情報発信	県立図書館ホームページのアクセス数	265,337件	250,146件	243,945件	241,872件	235,195件	241,514件	270,000件	10
19		「あきたブックネット」のアクセス数	908件	4,932件	9,347件	544,451件 (Twitter) ※5	1,510,644件 (Twitter) ※5	1,407,319件 (Twitter) ※5	2,000件	10
I 家庭における読書活動の推進 計19項目										

※1～H26の購入実績を基準とみなした冊数。

※2～平均的な単価を1,600円として現行予算で算出した冊数。

※3～H27年度から訪問形態を各市の中央図書館での集合型に変更。相談が集約される傾向にあるため。

※4～市町村立図書館等を通じた地域ボランティア支援の定着化傾向とH27年度実績見込みから推定。

※5～H30から「あきたブックネット」を「美の国あきたネット」内に特設ページとして移設したことにより、アクセス数の集計ができなくなったため、Twitterへのアクセス数を数値実績として掲載。

施策の柱	施策	効果測定項目	数値実績							ページ
			H27	H28	H29	H30	R元	R2	R2目標	
20	就学前施設における読み聞かせの推奨	受講者の肯定的評価の割合	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	100%	90.0%	90.0%	11
21	小・中学生における取組	「読書が好き」と答える児童生徒の割合（H30、R2は調査なし）	55.1%	55.1%	55.0%	—	49.3%	—	70.0%	—
22	特別支援学校における取組	校内の読書環境の整備と改善に定期的に取り組んでいる学校の割合	80.0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	12
23	学校図書館の活性化支援 (情報提供や貸出による支援)	小・中学校、高等学校、特別支援学校の事例紹介数	7件	14件	13件	32件 (訪問学校数)	36件 (訪問学校数)	18件 (訪問学校数)	(累計) 50件	12
24		学校図書館への年間貸出冊数	9,737冊	10,942冊	11,147冊	18,125冊	18,169冊	19,539冊	10,000冊	13
25		学校向け図書の年間購入冊数	355冊	2,419冊	1,966冊	2,365冊	2,202冊	2,177冊	※2 300冊	13
26	県立学校図書館職員等への研修機会の提供	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	96.0%	96.0%	100%	97.4%	—	80.0%	—
27	地域開放に向けた取組	「週に1回以上学校図書館等に行く」と答える児童生徒の割合（H30、R2は調査なし）	13.7%	13.4%	12.6%	—	15.8%	—	20.0%	—
28		学校図書館を地域に開放している学校の割合（隔年調査→5年毎調査）	(H26) 2.6%	5.1%	—	—	—	1.7%	10.0%	13
29	大学図書館と県立図書館との連携強化	大学図書館との相互貸借の年間貸出冊数	401冊	349冊	367冊	236冊	303冊	75冊	350冊	14
30		大学図書館との相互貸借の年間借受冊数	43冊	66冊	47冊	39冊	52冊	66冊	60冊	14
31	職場における読書環境の整備 (企業内文庫の設置)	「1日平均30分以上読書をしている」と答える30～40歳代の割合	30歳代 46.1%	35.2%	29.6%	37.5%	35.0%	33.2%	55.0%	14
			40歳代 47.7%	32.4%	32.1%	35.0%	37.2%	37.9%	55.0%	14
32	女性の活躍を応援する読書活動の推進	「1日平均30分以上読書をしている」と答える女性の割合	52.6%	47.8%	41.3%	43.6%	43.1%	45.0%	70.0%	14
33	仕事や就労に関連する読書支援	「取組を知っている」と答える利用者の割合	4.0%	隔年調査	66.7%	隔年調査	64.1%	隔年調査	30.0%	15
34		「取組に満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時調査	70.4%	上記と同時調査	60.0%	上記と同時調査	60.0%	15
35		市町村立図書館等のサービス実施館数	13館	15館	14館	18館	20館	21館	20館	15
36	高校生の主体的な読書活動の充実	1か月に1回以上学校図書館等を利用する生徒の割合	19.3%	22.3%	22.8%	22.7%	23.1%	20.1%	40.0%	16
37		1か月に本を1冊以上読む生徒の割合	59.9%	57.6%	60.4%	61.0%	61.3%	61.4%	70.0%	16
38	特別支援学校における読書活動の充実	様々な読書活動に関わり、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合	75.0%	97.2%	100%	100%	100%	100%	100%	16
39	図書館における読書への興味・関心を高める取組	「セカンドスクールの利用等に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合	—	93.8%	77.8%	89.6%	90.2%	100%	80.0%	17
40		「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合	—	95.3%	97.8%	100%	100%	100%	80.0%	17
II 学校・職場における読書活動の推進 計 21 項目										

施策の柱	施策	効果測定項目	数値実績							ページ
			H27	H28	H29	H30	R元	R2	R2目標	
41	様々な県民運動との連携による読書活動の推進	「満足した」と答える参加者の割合	—	79.7%	74.4%	97.0%	92.8%	—	80.0%	—
42	県児童会館での子どもの読書活動の推進	県子ども読書支援センターから県児童会館図書室への資料貸出冊数	1,226冊	1,033冊	1,051冊	837冊	593冊	619冊	1,200冊	18
43	「子ども読書の日」の周知と取組奨励	実施市町村数と取組件数	25市町村 150件	25市町村 195件	25市町村 220件	25市町村 199件	25市町村 176件	25市町村 176件	25市町村 200件	18
44	生涯学習としての読書活動の奨励	講座や読書活動で生涯学習手帳を活用している市町村の割合	72.0%	84.0%	96.0%	100%	100%	100%	100%	19
45	県立図書館の支援による利用促進	市町村立図書館等への年間貸出冊数	23,747冊	22,682冊	24,403冊	22,556冊	21,319冊	18,865冊	22,000冊	20
46		市町村立図書館等からの相談件数	199件	175件	182件	124件	125件	63件	※3 220件	20
47	市町村立図書館等職員の育成	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	96.5%	100%	100%	98.3%	100%	85.0%	20
48	地域の読書活動を支える人づくり	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	100%	97.1%	97.0%	98.0%	97.1%	85.0%	21
49	読み聞かせ団体等への活動支援	県子ども読書支援センターから読書ボランティア団体等への年間貸出冊数	2,776冊	2,720冊	3,483冊	6,422冊	5,648冊	5,420冊	2,500冊	22
50		県立図書館からボランティア団体等への年間貸出冊数	748冊	542冊	545冊	714冊	713冊	499冊	※4 700冊	22
51	「秋田県読書フェスタ」の開催	県主催の読書イベントの参加人数	1,571人	1,636人	1,075人	1,363人	1,973人	574人	1,900人	22
52	秋田県立図書館デジタルアーカイブの活用促進	登録データ数	601,879件	606,957件	607,193件	607,284件	605,687件	610,943件	615,000件	22
53		閲覧回数	29,522件	33,400件	37,225件	39,515件	33,557件	24,705件	30,000件	22
Ⅲ 地域における読書活動の推進 計 13 項目										

施策の柱	施策	効果測定項目	数値実績							ページ
			H27	H28	H29	H30	R元	R2	R2目標	
54	県と市町村の協働による推進体制の強化	読書活動に関する市町村との意見交換会における意見等についての施策への反映	反映状況は年次報告書に記載							23
55	県民の寄贈によるリレー文庫の普及（H29年度～「リサイクル文庫」から名称を変更）	リレー文庫寄贈冊数 配布施設数	2,418冊 49施設	2,363冊 129施設	2,269冊 86施設	1,195冊 39施設	1,006冊 36施設	872冊 25施設	1,800冊 80施設	23
56	視覚障がい者の読書推進	点字・音声による図書の製作・貸出数	製作251件 貸出7,399件	製作243件 貸出7,298件	製作353件 貸出6,538件	製作258件 貸出6,782件	製作294件 貸出7,408件	製作336件 貸出7,734件	製作550件 貸出8,200件	24
57	雑誌スポンサー制度の充実	公立図書館のスポンサー企業数	57企業	65企業	70企業	68企業	80企業	72企業	60企業	25
58	外部機関等と連携した図書館利用促進	イベント開催回数	61回	64回	67回	57回	61回	47回	60回	25
59		イベント参加者数	23,267人	21,070人	22,313人	11,852人	15,370人	9,285人	23,000人	25
60	「ビブリオバトル」の普及と大会開催	ビブリオバトル参加後「読書が楽しくなった」と答える参加者の割合	—	95.6%	92.8%	97.4%	97.6%	90.3%	80.0%	27
61	「読書絵はがきコンクール」の開催	作品展を実施する図書館等の数	1館	4館	2館	—	—	—	6館	—
62	幼少期からの読書活動推進体制の強化	秋田県子ども読書活動推進会議における協議内容の施策への反映	反映状況は年次報告書に記載							27
63	「県民読書の日」の啓発	「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合	—	78.8%	38.5%	75.0%	84.8%	—	50%以上	—
64	読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介	読書活動関連「行動人」数(累計)	125人	307人	711人	729人	731人	—	625人	—
Ⅳ 県民協働による読書活動の推進 計 11 項目										



© 2015 秋田県んだッチ